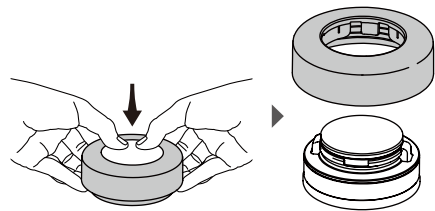


せんセット・パッキンの分解方法

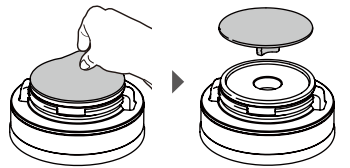
せんふたのはずし方

せんふたに手をかけ、中央にあるせんを矢印の方向に押し出す。



天面カバーのはずし方

ふちをつまんではずす。



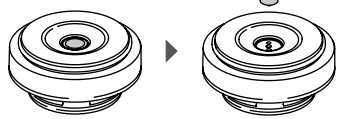
せんパッキンのはずし方

つまんではずす。



弁パッキンのはずし方

ふちをつまんでゆっくりはずす。

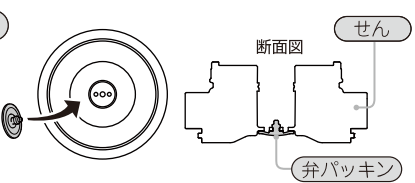


せんセット・パッキンの組み立て方法

正しく取り付けられていないと、もれの原因となります。

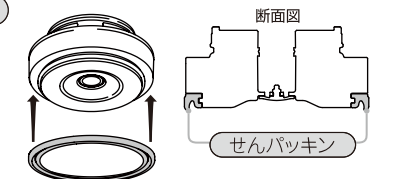
弁パッキンの取り付け方

弁パッキンの突起をせん底部の中央にある穴に入れて押し込む。



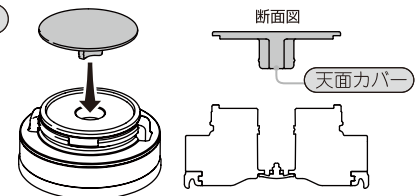
せんパッキンの取り付け方

せんパッキンの溝に合わせて（上下方向に注意）せんにセットする。



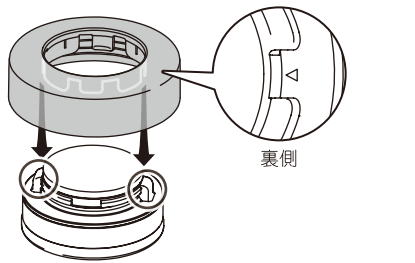
天面カバーの取り付け方

天面カバーの突起をせん上部の中央にある穴に入れて押し込む。



せんふたの取り付け方

せんふたの△マークのある凹部とせんの突起(○部分)を合わせてまっすぐ押し込む。



修理を依頼される前に

次の項目について点検をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症 状	点 検 す る と こ ろ	処 置
■せんからもれる	せんふた、せん、せんパッキン、弁パッキンが正しく、しっかり取り付けられていますか。	「せんセット・パッキンの組み立て方法」を参考にし、取り付け位置や方向、浮きがないことを確認してください。
	パッキンが汚れていませんか。	「お手入れの方法」を参考にし、お手入れをしてください。
	飲食物を入れすぎていませんか。	飲食物を少量減らしてください。
■本体内側、せん、せんふた、パッキンから異臭がする	飲食物を長時間入れたままにしたり、汚れが付着していませんか。	「お手入れの方法」を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はクエン酸を10%程度にうすめてお手入れをしてください。
■保温(保冷)が効かない	十分に熱い(冷たい)ものを入れていませんか。	十分に熱い(冷たい)ものを入れてください。あらかじめ本体内側を予熱(予冷)しておくとお効果的です。
	飲食物の量が少なくありませんか。	飲食物の量を多くすると効果的です。
■飲食物が腐敗した	長時間保存していませんか。	できるだけ早く(6時間以内)一度にお召し上がりください。
	生もの、果汁などを入れていませんか。	生もの、果汁など、腐敗や変質しやすいものは入れないでください。

※天面カバー・せんふた・せん・パッキンは消耗品です。使用後半年から1年を目安にご確認ください。

アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買上げの販売店もしくはピーコック魔法瓶工業(株)のお客様相談窓口にてご相談ください。

消耗部品のご購入について

製品型名・容量・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。(製品型名は製品底面に貼ってあるシールに記載されています。)

- ①ホームページ トップページの上のオンラインショップからお求めください。(取扱部品に限られておりますが、ご了承ください。)
- ②販売店 ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③お客様相談窓口 お電話もしくはFAXにてお申込みください。

部 品 名
LKC型 せんセット(天面カバー、せんふた、せん、せんパッキン、弁パッキン)
LKC型 せんパッキン
LKC型 弁パッキン

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>

お客様相談窓口

●受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00
月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

●ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ
06-6453-9489

●FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589
製品の型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・電話番号・FAX番号を記入のうえ、FAXでお問い合わせください。

 **ピーコック魔法瓶工業株式会社**
本 社 〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

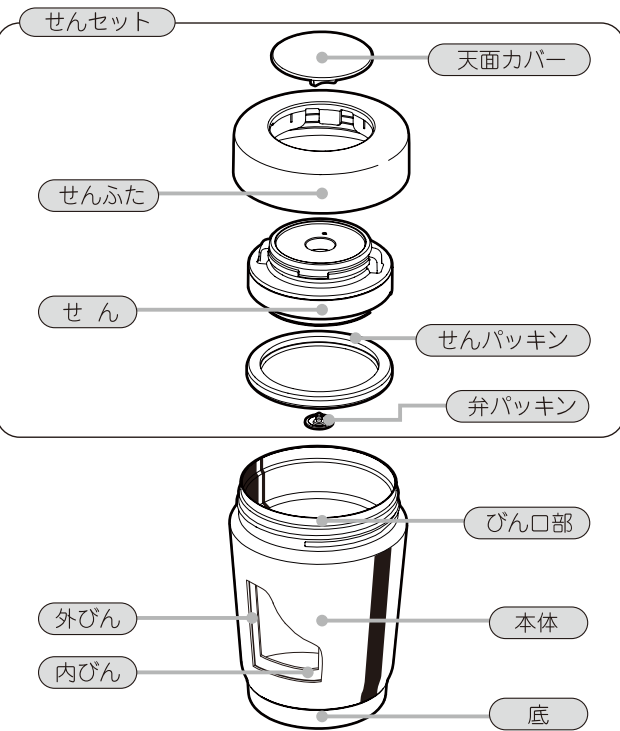
Peacock LKC

ステンレス製フードジャー

取扱説明書

このたびは、ピーコックスステンレス製フードジャーをお買い上げいただきましてまことにありがとうございました。ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

各部のなまえ



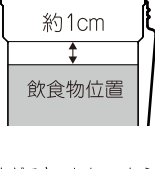
説明書中のイラストは、実際のものと異なる場合があります。

後々のため、この説明書を大切に保管してください。②

安全上のご注意

もれやあふれはやけどや他のものを汚す原因となります。

飲食物の保温・保冷以外に使用しない

乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらに注意する。  やけど・けがなど危険。	倒したり、落したり、ぶつけたり、強い衝撃を与えない。  破損・保温(保冷)効果の低下 サビ・塗装はがれ 内容物がもれる原因。	飲食物の量は、図の位置までにする。  入れすぎると、もれ・あふれ やけどのおそれ。
ストーブやコンロなど火のそばに近づけない。  変形・変色の原因。	熱いやかんをびん口部に触れさせない。  転倒しやけどなどのおそれ。 傷・変形の原因。	製品の横置きは避ける。  もれるおそれ。

- **ドライアイス・炭酸飲料などは絶対に入れない。**
本体内の圧力が上がり、せんセットがあかなかったり、飲食物が吹き出たり、部品が破損して、けがなどのおそれ。
- **生もの、果汁など変質しやすい飲食物は入れない。**
サラダや果物を入れる場合は、新鮮なものを使用し流水で洗浄して、十分冷やしてから本体に入れる。腐敗や変質のおそれ。
- **乳製品を含む飲食物や冷製スープなどは、必ず一度加熱処理したものを入れる。**
腐敗や変質のおそれ。長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して、本体内の圧力が上がり、飲食物が吹き出たり、部品が破損して、けがなどのおそれ。
- **熱いものを入れた場合は、やけどのおそれがあるので注意する。**
断熱効果により、熱いものを入れても本体外側は熱くなりません。

- **長時間の保存は避け、使用後はすぐにお手入れをする。**
外出時など十分なお手入れができない時でも、使用したあとはすぐに本体内側をよく水ですすぐ。腐敗・変質・カビの発生・におい移り・サビ・保温保冷効力低下の原因。腐敗や変質のおそれ。長く放置した場合、ガスが発生して本体内の圧力が上がり、飲食物が吹き出たり、部品が破損して、けがなどのおそれ。飲食物がもれるおそれ。
- **飲食物はできるだけ早く(6時間以内)食べる。このとき飲食物は一度に食べきる。** 腐敗や変質のおそれ。
- **せんセットが開けにくくなった場合、外側から製品をあたためない。**
本体内の圧力が上がり、飲食物が吹き出たり、部品が破損して、けがなどのおそれ。飲食物がもれるおそれ。内圧の上昇によりせんセットがあけにくくなった場合、P3の「せんセットがあけにくい場合」を参考にし、内圧を抜いてからせんセットをはずす。
- **熱いものを入れた直後、本体を振らない。** 内圧が急に上がりせんセットがあけにくくなったり、あける時、音がする場合があります。
- **大きな氷を入れる場合は、押し込まず小さくして入れる。** また、アイスピックなど先のとがったもので突かない。
内圧が急に上がりせんセット傷・もれ・変形など故障の原因。
- **せんセットは確実にしめて使用する。** もれ・やけどなどのおそれ。
- **せんパッキン・弁パッキンは必ずつけた状態で使用する。**
もれ・やけどなどのおそれ。車内や衣服を汚す原因。
- **せんセットを持って運ばない。**
- **傾けた状態や顔の近くでせんセットをあけない。**
熱いものを入れた場合、内容物が急激に出たり、飛散してやけどのおそれ。
- **バッグなどに入れるときは、本体を縦に置く。**
万一のものを防ぐため、必ず縦に置く。
- **パソコン・携帯電話・デジタルカメラなどの精密機械と一緒に持ち運ばない。** 万一もれがあった場合、精密機械の破損の原因。
- **自動車運転中は使用しない。**
やけどをしたり、車内や衣服を汚す原因。運転者の場合、運転への注意が散漫となり危険。
- **改造や分解修理はしない。** ● **冷凍庫に入れない。** もれなど故障の原因。
- **ご使用中、せんセットをあけた時に水が数滴こぼれ落ちる場合がありますが、これはせんの裏側やびん口部に空気中の水蒸気が結露して水滴となったもので、飲食物のもれではありません。**
- **電子レンジでの加熱はしない。** 火花が飛び危険。変形や変色の原因。

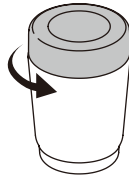
ご使用方法

ご使用前に内びん・せんセットなどを洗ってからご使用ください。

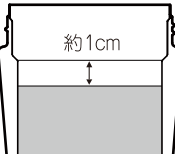
1 本体からせんセットをはずす

本体からせんセットを、矢印の方向にまわしてははずす。

はずす



2 飲食物を入れる



飲食物位置

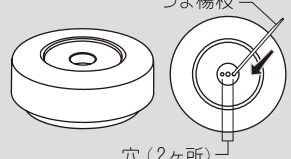
- あらかじめ少量の湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)するとより効果的です。
- 飲食物の量は図の位置までにする。

飲食物を入れすぎてせんセットをしめると、飲食物が吹き出したり後からもれ出すことがあります。飲食物を入れすぎた場合は、少量の飲食物を減らしてから、元どおりせんセットをしめてください。

せんセットがあけにくい場合

予熱時や熱い飲食物を入れた場合、また、長時間保温や保冷を続けた場合に本体内部の圧が上がリ、せんセットがあけにくくなる場合があります。その場合は以下の手順で内圧を抜いてください。

- ①せんセットから天面カバーをはずす。
- ②せん中央にある3つの穴のうち両端のどちらかに、つま楊枝のうしろ側など、弁パッキンに傷がつきにくい棒状のものを差し込む。



つま楊枝

穴(2ヶ所)

3 せんセットをしめる

本体を立てた状態でせんセットを矢印の方向にまわしてしめる。
※せんセットは確実にしめてください。



しめる

お手入れの方法

- ◆ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆お手入れするときは、やわらかいスポンジ 以外は使用しない。
- ◆においを防ぐため、こまめにお手入れする。

本体外側

本体をぬるま湯か水で丸洗いし、すぐに乾いた布で水分をふき取る。※つけ洗いはしない。

本体内側

台所用洗剤をうすめたぬるま湯か水で、柄のついたスポンジブラシなどできれいに内面を洗い、十分に乾燥させる。

せんセット

台所用洗剤をうすめたぬるま湯か水で丸洗いし、乾いた布で水分をふき取る。
●せんセット(天面カバー・せんふた・せん・せんパッキン・弁パッキン)は必ず分解してからお手入れする。
●乾燥は、分解したままでする。
●使用の際は、「せんセット・パッキンの組み立て方法」を参考にして、元どおりに確実に取りつける。(飲食物のもれの原因)

お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

- 漂白剤は使用しない。サビ・穴あきなど故障の原因。
- シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。傷・サビなど故障の原因。
- 本体・せんセットの煮沸および食器洗浄機や食器乾燥機などの使用はしない。傷・サビ・変形・もれなど故障の原因。
- 本体は丸洗いできますが、つけ洗い(水中に放置)はしない。
- 本体を丸洗いした後は、必ず水分をふき取る。
ふき取らないと、水滴のあとが残ったり、サビや他のものを汚す原因。
- 長時間、汚れたままで放置したり、洗い方が不十分な場合には、いやなにおいが発生したり樹脂が変色するので注意する。
- 長時間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、十分乾燥させて高温多湿をさけて保管する。

赤サビ状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内側に「赤サビ状の斑点」が出たり「水アカ」が付着することがあります。このような場合は、以下の手順でお手入れしてください。

① 定水量の熱湯にクエン酸を約10%加える。

② 約3時間後に柄のついたスポンジブラシなどで内面を洗い、水で十分にすすぐ。

③ 十分に乾燥させる。

- 使用前、および使用後は十分にお手入れをしてください。においやサビなどを防ぎ清潔にご使用いただけます。
- 他のものと一緒にお手入れをするときは、製品に傷がつかないようにご注意ください。